

外国人住民を対象とした聞き取り調査の実施経過報告

1. 調査の目的

人口減少や社会状況が変化する中、本市における多文化共生のあり方を検討するにあたり、外国人住民の生活実態や困りごと等の課題について、アンケート調査では把握できない詳細な内容を聞き取り、生活支援施策等の具体的検討を行うために実施する。

2. 調査の実施概要

①調査方法：グループヒアリング

②調査対象者：

松本市の住民基本台帳に登録のある外国人住民

③聞き取りテーマ：

外国籍住民の抱える主な課題を仮説として設定し、その課題を主に抱える層（国籍、年代、入国の背景等）を対象に主に以下のテーマについて聞き取りを行う。

	テーマ	仮説	対象者条件・想定
1	子育て・教育における課題	・ 必要な保育・教育や子育て支援を切れ目なく受けられていない ・ 子どもがケアラーとなりやすい	18歳未満の子どものいる親
2	コミュニティの高齢化による課題	・ 来日して30年程度経過し高齢期を迎える方々の生活不安、困りごとへの対応が必要	入管法改正時の90年代に入国してきた50～60代以上の方
3	生活サービスにおける課題（医療、ゴミ捨て、交通安全など）	・ 言語の問題や生活習慣の違いにより、住みにくさ、トラブルが生まれている ・ 必要なサービスが受けにくいシステムや仕組み上の問題がある	一人暮らしの方／家族のある方（家族構成で課題が異なることが想定されるため）
4	仕事における課題	・ 適切な労働条件や職場環境下で働いていない ・ 仕事を続けるうえで様々な困難や差別がある	特定技能、技能実習制度により入国している方

④実施期間： 2024年12～2025年2月

3. 実施報告

出身国	人数	日時
タイ	2名	2024年12月17日（火）13：00～15：00
中国	4名	2024年12月21日（土）19：00～21：00

※その他の国籍については実施調整中